日頃より、福岡管区気象台のホームページをご覧いただき、ありがとうございます。

今般の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、生活が困窮するなど被害を受けられた全ての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、感染リスクの高い最前線の医療現場で業務に従事されている方々に対し、敬意と感謝を申し上げます。

福岡管区気象台が管轄する九州・山口県は、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、多くの景勝地や温泉もある魅力の多い地域です。その一方で、活発な活動を続ける火山が多く存在するほか、台風や梅雨前線の影響を受けやすい地域でもあります。

昨年は、7月の長崎県(五島・対馬)の 大雨、8月の佐賀県を中心とした大雨で特 別警報を発表しました。福岡管内では平成 29年7月九州北部豪雨、平成30年7月豪雨 (西日本豪雨)に続き、3年連続の発表と なりました。



福岡管区気象台では、大雨や台風などについて早い段階からの情報発表に心掛け、被害の防止・軽減に繋がるよう努めています。また、こうした情報が効果的に活用されるよう、県内の各市町村を訪問するなど、日頃から地方公共団体や関係機関の防災担当の方々と協力関係を作り上げ、皆様のご理解とご協力を得ながら、気象はもとより地震・火山・海洋等の振る舞いや、防災気象情報の使い方に関する知識を住民の皆様に分かりやすくお伝えする努力を続けているところです。

出水期を迎えるにあたり、国一丸となって取り組まれている新型コロナウイルス感染拡大防止策に万全を期すとともに、自然災害への警戒の呼びかけの際には現象の重大さや切迫度をしっかりと伝え、地方公共団体や関係機関と一緒になって、地域の防災力強化に貢献できるよう尽力してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。